

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立清水特別支援学校

目 次

| | |
|--------------------------|----|
| 事務事業の概要 | 1 |
| 事務執行の根拠法令調 | 17 |
| 学校施設の概要 | 18 |
| 在籍生徒調 | 19 |
| 入学志願者及び入学者数調 | 20 |
| 卒業生の動向調 | 21 |
| 生徒の状況 | 22 |
| 特別支援学校における生産物受払調 | 24 |
| 預金調 | 25 |
| 郵券受払簿 | 26 |
| 材料品受払調 | 27 |
| 委託料等歳出予算執行状況節別集計表 | 28 |
| 委託料に関する調 | 30 |
| 負担金支出調 | 34 |
| 公有財産調 | 35 |
| 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調 | 35 |
| 行政財産貸付・使用許可調 | 36 |
| 主要備品調 | 37 |
| 職員調 | 38 |
| 職員の年齢調 | 43 |
| 健康管理 | 44 |

□□□□□

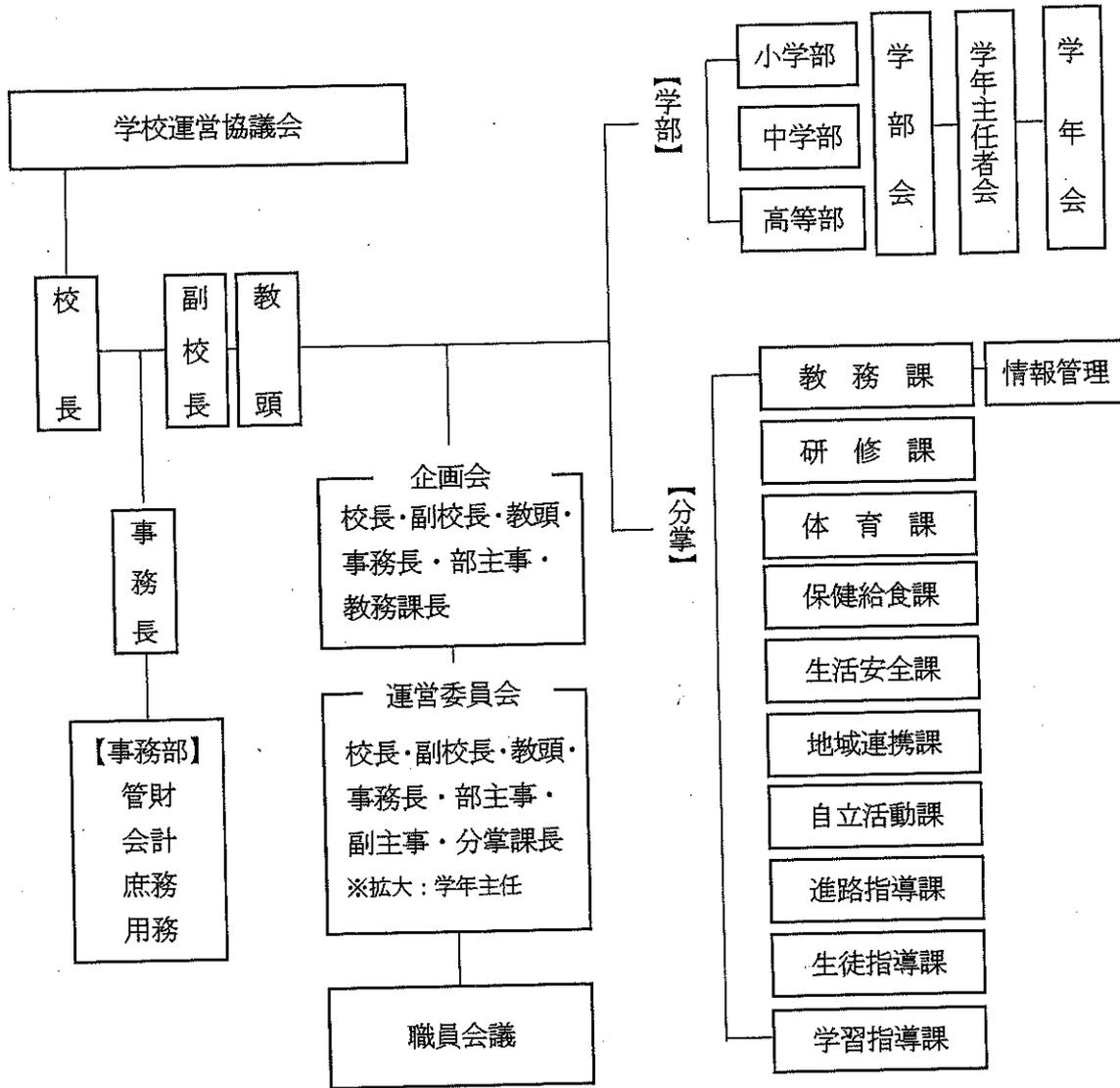
事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

- 平成 21 年 3 月 17 日 県立学校設置条例の一部改正、名称を「静岡県立清水特別支援学校」と決定
4 月 1 日 静岡県立清水特別支援学校設置準備委員会設置
6 月 22 日 建設工事着工
- 平成 22 年 4 月 1 日 開校
4 月 9 日 第 1 回入学式挙行
4 月 13 日 開校式 (小学部 59 人、中学部 34 人、高等部 41 人 計 134 人)
- 平成 23 年 2 月 7 日 高等部特別教室棟図書室、多目的ホール空調設備設置
8 月 29 日 小中学部棟 7 台、高等部棟 2 台空調設備設置
- 平成 25 年 3 月 15 日 災害用仮設トイレ 6 台設置
- 平成 26 年 3 月 3 日 校歌制定
- 平成 27 年 2 月 6 日 蓄電池付太陽光発電設備設置
4 月 1 日 スクールバス 1 台増車 (委託) 計 4 台で運行
- 令和 元年 5 月 31 日 小中学部棟 19 台、高等部棟 9 台空調設備設置
12 月 14 日 開校 10 周年記念講演会及び記念演奏会
- 令和 2 年 1 月 21 日 10 周年を祝う会
8 月 28 日 高等部特別教室棟等空調設備設置 (木・農・陶工芸室、集会室、調理室等)
- 令和 3 年 4 月 1 日 スクールバス 1 台増車 (委託) 計 5 台で運行
- 令和 6 年 4 月 1 日 スクールバス 1 台増車 (委託) 計 6 台で運行

(2) 組織図



【各種委員会】
 教育課程編成委員会、研究推進委員会、生徒指導検討委員会、人権教育推進委員会
 交流教育推進委員会、学校保健委員会、学校安全対策委員会、アレルギー対応検討委員会
 食育推進委員会、情報管理委員会、校内就学支援委員会、入学者選考委員会、
 初任者研修推進委員会、スクールバス委員会、教科書採択委員会、学校職員衛生委員会、
 交通安全促進委員会、献立作成・物資選定委員会、施設開放委員会、学校自己評価委員会、
 校内医療のケア検討委員会、庶務委員会

2 目指す学校像

(1) 教育目標『ともにあゆみ、ともにかがやく』

～児童生徒一人一人が夢を持って可能性を伸ばし、地域で自分らしく生きることをみんなで支援する～

(2) 目標具現化の柱

児童生徒・職員が「行きたい」、保護者が「行かせたい」、地域の方が「あって良かった」と思う地域に輝きを発信し続ける学校

<元気>・心身の健康を育み、安全で安心した生活ができる学校（安全・安心）

<笑顔>・自ら学び、考え、達成感があり、確かな成長を育む授業を行う学校（専門性）

<貢献>・かかわるすべての人とともにあゆみ、保護者・地域から愛され、信頼される学校（連携）

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

| | 取組目標 | 成果目標 | 達成状況 | 評価 | 成果と課題 |
|--------|--------------------|--|---|----|---|
| 元 気 | 危険察知や自分の身体を守る習慣づくり | ・児童生徒・職員は緊急時に自分で考えて自らの身を守る行動がとれる状態になっている | ・避難訓練では、繰り返しの学習や訓練で理解が進み、落ち着いて対応できるようになった。 ・緊急時対応訓練では、養護教諭が参加し、実践的な訓練ができた。 | A | ・年度末実施の予告なしの避難訓練においても、子どもたちは落ち着いて避難することができた。今後も事後の振り返りをもとに回線を継続していく。 ・防災食について、目的や備蓄状況をPTA総会等で保護者に周知していく。 |
| | | ・児童生徒が心身の健康に関心を持ち主体的に活動に取り組んでいる | ・昼の放送や掲示物、配布資料など各分掌からの情報発信により、児童生徒の運動や健康、安全に関する興味関心が高まった。 ・個々の実態や気候に応じた運動、活動を考えて行ったことで、児童生徒が健康増進に主体的に取り組む姿が見られた。 | A | ・児童生徒が健康につながる取り組みができるよう、養護教諭、栄養教諭、外部講師との連携や「からだづくりシート」の活用を通して、日常生活の指導や保健の授業の充実を図る。 |
| | 安全で安心した生活ができる環境づくり | ・教職員が児童生徒の模範となるよう、自他を大切にしている行動を常に心掛けてい | ・人権チェックシートや学習会などで自身の行動を確認することができた。 ・教職員が手本となる挨拶をすることができた。進ん | A | ・引き続き不祥事根絶GWや学部学習会で定期的に人権について学習をし、人権チェックシートによる振り返りを継続す |

| | | | | | |
|----|-----------------------------|---|--|---|--|
| | | る | で挨拶をしたり、挨拶を返したりする児童生徒が増えた。 | | る。 ・児童生徒と対話をする時間を設定し、不安や悩みを話せる機会を作る。 スクールカウンセラーの活用も計画的に進める。 |
| | | ・教職員が安全で快適な環境を作るために片付け、清掃、廃棄などに自ら取り組んでいる | ・安全点検表を用いた確認を毎月行うことで、廊下や教室の環境を整えることができた。 ・事務職員や技能員、実習支援員の迅速な対応でよい環境が保たれている。 | A | ・物の置き場、ごみの分別方法は示されているので、個々人が使った物や共有スペースの使用後の片付け、ごみの分別を確実に行うようにする。 |
| 笑顔 | 良さを伸ばし自分で考え、挑戦する姿を引き出す授業づくり | ・教職員が時期ごと、取り組むべきことを明確化 ・焦点化した“学校生活づくり”を考えている | ・児童生徒の実態に合わせた手立ての工夫や、単元終了後に評価をし、来年度に向けての方向性を考えることができた。 ・教育課程検討プロジェクトの取組から小中高12年間のつながりのある年間指導計画を作成できた。 | B | ・児童生徒が自分で考え挑戦する姿を引き出せる支援方法を引き続き検討、実施する。 ・年度当初に年間指導計画を共通理解した上で、提案期日を示し、各活動に十分な検討準備がとれるようにする。 |
| | | ・教職員が最良のテーマは何かを捉え、成就すべきことを明確にした単元を設定し展開している | ・子どもを主語に単元、目標設定をし、子どもたちの現れから柔軟に活動内容を変更し、取り組めた。 ・授業研での指導助言を活かして授業改善を進めることができた。 | A | ・授業研を経て、授業づくりで大切にしたいことを校内で共有できた。今年度の成果を次年度の授業づくりに反映させる。 ・研修だけでなく学年主任を中心とした単元設定の段階からの学年内での授業づくりの推進を行う。 |
| | ICT活用の促進 | ・児童生徒が授業において、友だちや教師とのやり取りや自らの考えを深めることに機器を活用している | ・調べ学習やパワーポイントを使った発表、動画を活用した事後の振り返り、ドロップタツプで会活動に参加するなど児童生徒のICT活用が進んだ。 | A | ・児童生徒の考えを深めることやコミュニケーションのツールとしてICT活用できるよう、次年度のICTプロジェクトを中心に検討実践を深める。 ・ICTが苦手な教員 |

| | | | | | |
|--------|-----------------------------|--|--|---|---|
| | | | | | も巻き込めるよう情報発信やOJTを継続する。 |
| | チームで学校運営に取り組み、働きがいを感じる職場づくり | ・教職員の特別支援教育の専門的知識が広がり、指導力が向上し、学び合う関係が築かれている | ・自立活動の事例検討、1人1授業、OJTでの学びあい、教材展示など学年を超えた学びあいの機会が充実し、有効だった。 | A | ・今年度の取組を継続し、学び合いや学びをアウトプットする機会を確保する。 ・研修において、指導場面での実践的な助言を受ける学習会の実施を継続する。 |
| | 豊かな心と挑戦する心を育む指導の充実 | ・児童生徒の自信をもって表現する姿が増えている | ・授業中で自己表現したり、発表したりする場が多くあり、自発的に自信をもって表現する姿が増えている。 ・コンクールや作品展の紹介を丁寧に回覧することで、積極的な出展が行われ、児童生徒の創作意欲が向上した。 | A | ・学校ホームページやインスタグラムを活用し、情報発信の充実を図る。 ・作品展の展示物にQRコードやコメントボードをつけ、児童生徒へのフィードバックできるようにする。 |
| 貢 献 | 特別支援教育の連携と推進 | ・各交流の成果を保護者や地域、連携校が理解している | ・交流籍交流では、児童生徒や保護者、相手校からやってよかったという肯定的な意見が出された。一方で保護者、交流校に目的や意義が十分伝わっていないケースも見られた。 ・学校間交流、地域ボラ、飯田まつり、松葉かきなど地域活動は充実した。 | B | ・交流籍交流について、希望調査時に目的や方法を保護者に周知する。交流籍ガイドブックの手続きに則り、早めに計画、調整に取り組む。 ・来校者アンケートを継続し、発信、周知の状況を把握し、改善を進める。 |
| | 保護者や地域と繋がる指導や支援の充実 | ・本人保護者が様々な情報を元に自己の課題に取り組み主体的に進路を決定することができている | ・保護者が進路課長の話を聞く機会がよかった。高等部や卒業生の保護者の話を聞く機会があるとよい。 ・小学部の頑張りカードは、学校と家庭が相談しながら、子どもの将来を考え、取り組むことができた。 | B | ・事業所見学会や事業所と保護者の懇談会などを計画し、保護者への情報提供を引き続き進める。 ・キャリアパスポートの作成、活用を進め児童生徒が成長の過程を振り返り、自己理解が深まるようにする。 |

| | | | | |
|--|---------------------------------|--|---|--|
| | ・保護者がその時期にその授業を行う意義の説明を受け理解している | ・学年・学部だよりや連絡帳、懇談会、面談などで授業の意図を伝えることはできた。 ・年間学習計画の保護者配付は有効であった。 | B | ・年間学習計画の書式を小中高で揃え、12年間の学習のつながりが見取りやすいものし、保護者への理解を図る。 ・デジタルプラットフォームの進捗を保護者と共有し、活用を進める。 |
|--|---------------------------------|--|---|--|

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

| | 取組目標 | 達成方法 (取組手段) | 成果目標 |
|--------|-----------------------------|---|---|
| 元 気 | 危険察知や自分の身体を守る習慣づくり | 日常生活の指導や防災・交通安全等の学習会で身体を守る体験的活動の充実やマニュアルの整備 | 児童生徒は自分で考えて身を守る行動がとれ、教職員は緊急時の役割が分かって行動できる |
| | | 体力の向上を目指した活動と心身の健康や安全につながる活動の継続的な実施 | 児童生徒が日常的に心身の健康や安全に生活する上で必要なことが分かり、主体的に活動に取り組んでいる |
| | 安全で安心した生活ができる環境づくり | 挨拶の奨励や多様性と互いの良さを認めあう機会の充実 | 児童生徒・教職員が、自他を大切にしている言動をとっている |
| | | 日常的な事故防止や衛生的な環境を保つための意識と行動 | 教職員が安全で快適な環境を作るために整頓、清掃、廃棄などに自ら取り組んでいる |
| 笑 顔 | 良さを伸ばし自分で考え、挑戦する姿を引き出す授業づくり | 時期ごとのテーマ、“学校生活づくり”について確認、検討、改善する時間の確保 | 教職員が児童生徒の興味や思考に沿って、柔軟に学習を展開しながら学校生活づくりをしている |
| | | 単元カードに基づく、計画的で視点を明確にした授業検討と評価の実施 | 教職員が子どもを主語にした授業づくりをすることで、児童生徒の学びが広がり、意欲と主体性が育まれている |
| | 対話と深い学びのためのICT活用・指導の充実 | 自立活動シート等を活用した実態把握と障害特性の理解や専門性向上につながる研修の実施 | 今指導すべき目標を導き出し、指導場面を明確にした取り組みにより、児童生徒が持てる力を発揮し活動に取り組んでいる |
| | | 障害特性や発達段階に応じた理解やコミュニケーションを促すツールとしてのICT活用 | 目的を明確にしたICT活用で授業や支援が充実し、児童生徒が主体的に考え、伝えながら活動に取り組んでいる |

| | | | |
|----|-----------------------------|---|---|
| | チームで学校運営に取り組み、働きがいを感じる職場づくり | 働きやすい環境にするための具体的な目標設定と実践 | 教職員が自分事として業務改善できることを考え、取り組んでいる |
| 貢献 | 豊かな心と挑戦する心を育む指導と発信 | 校内外での表現活動の推進と開かれた教育活動の実施 | 様々な学習活動を通して児童生徒が思いを伝えたり他者の表現から学びを得たりする姿が増えている |
| | 共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進 | 共に育つ交流（地域交流、「交流籍」を活用した交流及び共同学習、学校間交流）の充実と、活動の成果の共有や学習の様子の情報発信 | 各交流と学習の成果を保護者や地域、連携校が共有している |
| | 保護者や地域と繋がる指導や支援の充実 | 個別の教育支援計画に基づくキャリア教育（進路指導）の理解と指導の充実 | 本人保護者が様々な情報を元に自己の課題に取り組み、主体的に進路を決定することができる |

4 監査対象期間における特色ある取組

| 年度 | 取組概要 | 成果及び課題 |
|-------|---|--|
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが夢をもち、地域で自分らしく生きることかできるよう、これまで培ってきた地域とのつながりを生かし、地域を巻き込み、より協働的な取組になるよう発展させる。 共生社会の実現に向け、本校の取組や児童生徒の魅力を発信するとともに、発信後の反響を児童生徒にフィードバックすることで意欲や自信につなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせやラジオ体操・踊り指導、芋掘り体験等、継続的な取組により、児童生徒の興味関心の広がりとともに、指導する地域の方が児童生徒との関わり方を掴み、成長を実感していることがうかがえた。 静岡FIDサッカー連盟によるサッカー教室や高等部美術での陶芸指導、消費者講座など専門的知識技能をもつ外部の指導者から直接指導を受けることで、児童生徒の知識技能や教員の指導力向上につながった。 三保の松原保全活動を中、高等部が実施。（清水区、支援学級、プロスポーツチームとの協働） 校外作品展で感想を記入するボードを設置した。加えて感想を入力できるQRコードを提示した。 5年度学校運営協議会からの提案で飯田地区社会協議会主催の飯田まつりにPTAと協働でコーナー出展を実施した。（作業製品販売、作品展示、遊びコーナー） |
| | <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の良さを伸ばし自分で考え、挑戦する姿を引き出す授業づくり | <ul style="list-style-type: none"> 教育課程検討プロジェクトを中心に、小・中・高12年間を見通しつつ、時期に合わせた学校生 |

| | | |
|-------|--|---|
| 令和7年度 | <p>のため、子どもを主語にし児童生徒の興味や思考に沿った学習を計画的に実施する。</p> <p>・子どもたちの豊かな心と挑戦する心を育むため、これまで培ってきた地域とのつながりを発展・充実させ、地域を巻き込んだ協働的な取組を実践する。</p> | <p>活のテーマを意識した年間指導計画になるよう見直しをした。</p> <p>・AARサイクルをもとに、児童生徒を主語にした授業づくりをすることで、児童生徒が思考し、主体的に学ぶ姿が増えた。</p> <p>・学年での話し合いを充実させ、児童生徒の興味や思考に沿った柔軟な学習展開が行われた。</p> <p>・読み聞かせやラジオ体操、踊り指導、花壇整備、太鼓演奏指導等、これまでの取組の積み重ねにより、児童生徒が地域の方と主体的に関わる姿が見られた。地域の方々からは「特別支援学校が身近になっている」という感想をいただき、児童生徒の理解が深まっている。</p> <p>・静岡FIDサッカー連盟によるサッカー教室や高等部農工芸班へのJAしみずによる技術指導など専門的知識技能をもつ外部の指導者から直接指導を受けることで、児童生徒の知識技能や教員の指導力向上につながった。</p> <p>・小中学部の『交流籍』を活用した交流及び共同学習や学校間交流で、居住地域や同年齢の友達と関わり、お互いを知る・理解するきっかけとなった。高等部の学校間交流では、新たに清水東高校と部活動（サッカー部、美術部）の交流を実施。サッカー部の合同練習では、ドリブル・パス練習やミニゲームを行った。生徒はサッカーを通じた自然体の関わりが生まれ、技術向上を図るとともに交流を深めることができた。</p> |
|-------|--|---|

令和6年度 交流教育実績

| 学部 | 交流種類 | 実施内容 | 回数 |
|-----|-------------------------------------|--------------------------------------|-----|
| 小学部 | 交流籍校 19校 | 授業、休み時間への参加 手紙や自己紹介カード等の交換 | 52回 |
| | 学校間…清水飯田東小（各学年） | 交流会、掲示物や自己紹介カード等の交換 | 6回 |
| 中学部 | 交流籍校 12校 | 授業、休み時間への参加 手紙や自己紹介カード等の交換 | 20回 |
| | 学校間…清水南高中等部、清水飯田中、清水第五中、清水第八中、清水袖師中 | 交流会、掲示物・美術作品やメッセージカードの交換、三保の松葉かきでの交流 | 6回 |
| 高等部 | 学校間…清水東高、清水南高、出身中学校（3校） | 文化祭、授業交流、美術作品の交換展示、学校紹介、作業製品販売会の案内 | 7回 |

令和6年度 地域活用実績

| 学部 | 相手等 | 実施内容 | 実施箇所 |
|-----|--|--|---|
| 小学部 | 店舗、商店街、公園、自治会館、老人施設、ボランティア団体、サッカー団体、ラジオ体操協会 | 買い物、遊び体験、調べ学習、ゲーム活動等の交流、収穫体験、体づくり、ラジオ体操指導 | 本校、近隣店舗、秋葉山公園、駅前銀座商店街、八坂町自治会館、近隣老人施設等 |
| 中学部 | 店舗施設、商店、交流館、みほしるべ、自治会、社会福祉協議会、ボランティア団体、ラジオ体操協会 | 地域探検、調べ学習、清掃活動、ゲーム活動等の交流、ラジオ体操指導 | 本校、近隣店舗施設、公共施設、清水港、河岸の市、JA、秋葉山公園、三保松原等 |
| 高等部 | 店舗・施設、ボランティア団体、スポーツ協会、ラジオ体操協会、サッカー協会、清水区役所、清水エスパルス | 体育、作業製品改良に向けた市場調査、三保の松原保全ボランティア活動(松葉かき)、蛇塚スポーツ交流(サッカー)、ラジオ体操指導、未来創造トーク、エスパルスボランティア体験、エスパルスウェルカムボード制作 | 本校、秋葉山公園、清水駅周辺の文房具店、三保の松原・みほしるべ、清水蛇塚スポーツグラウンド、清水区役所等、IAIスタジアム |

令和7年度 交流教育実績

| 学部 | 交流種類 | 実施内容 | 回数 |
|-----|-------------------------------|---|-----|
| 小学部 | 交流籍校 18校 | 授業、休み時間への参加 手紙や自己紹介カード等の交換 | 60回 |
| | 学校間…飯田東小(各学年) | 交流会、掲示物や自己紹介カード等の交換 | 12回 |
| 中学部 | 交流籍校 12校 | 授業、休み時間への参加 手紙や自己紹介カード等の交換 | 20回 |
| | 学校間…清水南高中等部、飯田中、清水五中、清水八中、袖師中 | 交流会、掲示物・美術作品やメッセージカードの交換、学習発表、三保の松葉かきでの交流 | 6回 |
| 高等部 | 学校間…清水東高、清水南高、出身中学校 | 文化祭、授業交流、部活動交流、美術作品の交換展示、学校紹介、作業製品販売会の案内 | 12回 |

令和7年度 地域活用実績

| 学部 | 相手等 | 実施内容 | 実施箇所 |
|-----|---|---|--|
| 小学部 | 店舗、商店街、公園、自治会館、老人施設、ボランティア団体、サッカー団体、ラジオ体操協会 | 買い物、遊び体験、調べ学習、ゲーム活動等の交流、収穫体験、体づくり、ラジオ体操指導 | 本校、近隣店舗、秋葉山公園、駅前銀座商店街、八坂町自治会館、近隣老人施設、古紙センター等 |
| 中学部 | 店舗施設、商店、交流館、みほしるべ、自治会、社会 | 地域探検、調べ学習、清掃活動、ゲーム活動等の交流、花 | 本校、近隣店舗施設、公共施設、清水港、河岸の市、 |

| | | | |
|-----|---|--|--|
| | 福祉協議会、ボランティア団体、ラジオ体操協会 | 壇整備、ラジオ体操指導 | 秋葉山公園、三保松原等 |
| 高等部 | 店舗・施設、ボランティア団体、スポーツ協会、ラジオ体操協会、サッカー協会、清水区役所、清水エスパルス、くふうハヤテベンチャーズ、JAしみず | 体育、作業製品改良に向けた市場調査、三保の松原保全ボランティア活動(松葉かき)、蛇塚スポーツ交流(サッカー)、ラジオ体操指導、未来創造トークエスパルスボランティア体験、エスパルスウェルカムボード制作、くふうハヤテ応援 | 本校、秋葉山公園、清水駅周辺の文房具店、三保の松原・みほしるべ、清水蛇塚スポーツグラウンド、清水区役所等、IAIスタジアム、ちゅーるスタジアム等 |

5 教職員について

(1) 異動状況

| 職名 区分 | 本務職員 | | | | | | | 臨時・会計年度任用職員 | | | | | 合計 | |
|----------|------|----|------|----|------|----|----|-------------|-------|-------|-------|--------|-----|-----|
| | 教育職員 | | | | 行政職員 | | | 本務計 | 教諭(任) | 教諭(臨) | 非常勤講師 | 非常勤嘱託員 | | 臨時計 |
| | 教頭 | 教諭 | 養護教諭 | 小計 | 主任 | 小計 | 小計 | | | | | | | |
| 転出 | 1 | 13 | 1 | 15 | 1 | 1 | 16 | 4 | 6 | | | | 10 | 26 |
| 退職 | | 3 | | 3 | | 0 | 3 | 1 | | 2 | 1 | | 4 | 7 |
| 転入 | 1 | 10 | 1 | 12 | 1 | 1 | 13 | | | | | | 0 | 13 |
| 新任 | | 7 | | 7 | | 0 | 7 | | 6 | 1 | | | 7 | 14 |
| 増減引 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | △ 5 | 0 | △ 1 | △ 1 | △ 1 | △ 7 | △ 6 |

(令和7年9月30日現在)

(2) 現員数

| 職名 区分 | 本務職員 | | | | | | | | | | | 臨時・会計年度任用職員 | | | | | | | | 合計 | |
|----------|------|-----|----|-----|------|------|-----|------|----|----|----|-------------|-------|-------|-------|------------|---------|---------|--------|----|-----|
| | 教育職員 | | | | | | | 行政職員 | | | | 本務計 | 教諭(任) | 教諭(臨) | 非常勤講師 | スクールカウンセラー | 就労促進専門員 | 非常勤労務職員 | 非常勤嘱託員 | | 臨時計 |
| | 校長 | 副校長 | 教頭 | 教諭 | 栄養教諭 | 養護教諭 | 小計 | 事務長 | 主査 | 主任 | 小計 | | | | | | | | | | |
| | 1 | 1 | 1 | 101 | 1 | 2 | 107 | 1 | 2 | 1 | 4 | 111 | 3 | 9 | 2 | 1 | 1 | 9 | 5 | 30 | 141 |

(3) 健康管理について

すべての教職員が確実に健康診断を受診できるように、再検査・要精密検査者に対しては、迅速な受診を勧める等積極的な健康の保持増進を推進している。

メンタルヘルスについては、学校職員衛生委員会で話題に挙げ、各学部主事等から適宜情報を得たりするとともに、気になる教職員に対しては、積極的に声をかけるなどラインケアを心がけている。相談しやすい環境づくりに努めている。

ワークライフバランスの取り組みとしては、毎月一回の全職員対象完全定時退勤日と、学部

ごとの定時退勤日、My Work Dayを設定し、個人の仕事を集中的に行う時間を設けることで時間外勤務の削減を図っている。全職員が早期に退勤しやすい環境づくり、心身共に健康で、毎日「行きたい」と思える職場づくりに努めている。

(4) 教職員の研修について

ア 令和6年度

| 取 組 | 方 策 |
|---|---|
| <p>・「自ら学び、良さを伸ばす子ども～AARサイクルを活かし、各教科等を合わせた指導の特長を捉える授業づくり～」を研究テーマとし、教師が児童生徒の思考を確かに見取り、必要な支援を講じることで、児童生徒が主体的に学びに向かい自分の良さを伸ばすことを目指す実践</p> | <p>・各教科等を合わせた指導の特長を捉える授業づくり ・AARサイクルを活用して、子どもが見通しをもち、行動し、振り返る学習過程の想定と見取り ・AARサイクルを想定した一人一授業研究 ・佐藤慎二氏を招聘した講演会の実施 ・助言者等を招いて学部研究会や公開授業研究会の実施 ・他校の研究授業、各種講演会の情報を、随時発信して積極的な参加を促す</p> |

校内講演会及び学習会

教員の専門性や資質向上を図るため外部講師を招聘し、以下の学習会及び講演会を実施

| 実施時期 | 演題・学習会内容 | 講 師 |
|--|---|--|
| 5/16 | <p>自立活動 専門性向上研修会 「自閉症スペクトラムについての講話、指導助言を通して、特性理解を深め日々の指導実践に活かす。」</p> | <p>公益社団法人子どもの発達科学研究所 主任研究員 弓削 香織氏</p> |
| 6/5 | <p>救命講習会 「心肺蘇生の方法とAEDの使用方法を確認し、緊急時に適切に対応できる心構えと技能を学ぶ」</p> | <p>清水消防署OB 5名、救命救急士 1名</p> |
| 6/6 10/10 12/16 | <p>自立活動研修会、ケース検討会 「ケース検討を通して、実態把握や目標・指導内容の設定、指導評価の仕方、ケース検討の方法について学ぶ。」</p> | <p>静岡大学教育学部 特別支援教育専攻教授 香野 毅氏</p> |
| 6/28 6/26 7/1 10/28 10/17 12/10 | <p>前期学部授業研究会 「研究テーマに基づく本校の取り組みを発表、研究協議、助言の内容を授業改善に生かす」 後期学部授業研究会 「研究テーマに基づく本校の取り組みを発表、研究協議、助言の内容を授業改善に生かす」</p> | <p>小…浜松特別支援学校 小嶋 真子氏 中…藤枝特別支援学校 徳増 五郎氏 高…富士特別支援学校 山川 裕子氏</p> |

| | | |
|------|--|--------------------------------------|
| 7/4 | ST研修会 「児童の言語面での指導について言語聴覚療法の専門的視点から今後の指導につながる助言をいただく」 | 静岡済生会療育センター令和 言語聴覚士 橋本 潤子氏 |
| 7/26 | アンガーマネジメント研修 「職員の健康の保持を目的に、アンガーマネジメントの基礎知識や怒りの感情と上手に付き合う方法を学ぶ」 | ここのファミリークリニック 河野 千恵氏 |
| 7/29 | 防災研修 HUG訓練を通じ、災害時に避難所を運営する際の課題を学ぶ | 静岡県中部地区地域局 危機管理課主査 小澤 秀明氏 |
| 7/30 | 外部講師を招聘した講演会 はごろも『夢』講演会 ペップトーク 「言葉のちから 無限大！」 教職員同士 子ども 保護者の背中を押す前向きなコミュニケーション 「相手の状況を理解し、前向きに背中を押すような肯定的な言葉を教職員同士、対児童生徒や保護者に掛け、コミュニケーションを円滑にするペップトークの手法を学び、今後の指導や業務に活かす」 | 一般社団法人日本ペップトーク普及協会 代表理事 岩崎 由純氏 |
| 7/31 | 職員歯科研修 「障害がある児童生徒の歯科的（咀嚼を中心に）健康問題について学び、日常支援の役割や方法を確認する」 | 明海大学歯学部摂食嚥下リハビリテーション学講座 教授 大岡 貴史氏 |
| 7/31 | 電子黒板研修 「電子黒板の使用法について学び、授業で活用する」 | テクノホライゾン株式会社 平野 良和氏 梶浦 由絵氏 |
| 8/7 | 人権研修「想像しよう子どもの気持ち～人権を尊重した関わり方～」 「子どもの周りにいる大人の存在、言動そのものが人権の基準を作ること。子どもの背後にある心情や意味を理解しよう心がけること。以上を全職員で共通理解し、子どもたちや同僚の人権を尊重した関わり方を学ぶ」 | 静岡県人権啓発センター 橋本 美幸氏 |
| 9/11 | 外部講師を招聘した講演会 「各教科等を合わせた指導の特長を生かす授業づくり～学校生活づくりの視点で | 植草学園短期大学教授 佐藤 慎二氏 |

| | |
|---|--|
| 単元をつくる・AARサイクルに触れながら～ 「知的障害教育が大切にしてきた各教科等を合わせた指導の特長について理解し、自身の授業づくりについて実践を振り返り、授業改善に生かす」 | |
|---|--|

イ 令和7年度

| 取 組 | 方 策 |
|--|--|
| ・「自ら学び、良さを伸ばす子ども～AARサイクルを活かし、各教科等を合わせた指導の特長を捉える授業づくり～」を研究テーマとし、教師が子どもを主語にした授業づくりをすることで、児童生徒の学びが広がり、意欲と主体性の育成を目指す実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・各教科等を合わせた指導の特長を捉える授業づくり ・AARサイクルを活用して、子どもが見通しをもち、行動し、振り返る学習過程の想定と見取り ・単元カードに基づく、計画的で視点を明確にした授業検討と評価の実施 ・AARサイクルを想定した一人一授業研究 ・佐藤慎二氏を招聘した講演会の実施 ・助言者を招いて学部研究会や公開授業研究会の実施 ・他校の研究授業、各種講演会の情報を、随時発信して積極的な参加を促す |

校内講演会及び学習会

教員の専門性や資質向上を図るため外部講師を招聘し、以下の学習会及び講演会を実施

| 実施時期 | 演題・学習会内容 | 講 師 |
|-------------------------------|--|--|
| 5/15 | 自立活動 専門性向上研修会 「自閉症スペクトラムについての講話、指導助言を通して、特性理解を深め日々の指導実践に活かす」 | 公益社団法人子どもの発達科学研究所 主任研究員 弓削 香織氏 |
| 7/28 | 校内事例検討会 | |
| 6/11 | 救命講習会 「心肺蘇生の方法とAEDの使用方法を確認し、緊急時に適切に対応できる心構えと技能を学ぶ」 | 清水消防署消防隊員5名 |
| 6/16 10/6 1/19 | 自立活動研修会 ケース検討会 「ケース検討を通して、実態把握や目標・指導内容の設定、指導評価の仕方、ケース検討の方法について学ぶ」 | 静岡大学教育学部 特別支援教育専攻教授 香野 毅氏 |
| 6/20 6/12 7/14 11/13 | 前期学部授業研究会 「研究テーマに基づく本校の取り組みを発表、研究協議、助言の内容を授業改善に生かす」 後期公開授業研究会 | 小…浜松特別支援学校 小嶋 真子氏 中…(株)Build WORKS Lab 徳増 五郎氏 高…御殿場特別支援学校 山川 裕子氏 |

| | | |
|-------|--|--|
| | 「研究テーマに基づく本校の取り組みを発表、研究協議、助言の内容を授業改善に生かす」 | |
| 7/4 | OT研修会 「児童生徒が日常生活動作を行うために必要な感覚運動能力や認知能力、社会適応能力の向上やソーシャルスキル能力の向上について、作業療法の専門的視点から今後の指導につながる助言をいただく」 | 静岡済生会療育センター令和 作業療法士 伊井 玄氏 |
| 7/26 | アンガーマネジメント研修 ¹ 「職員の健康の保持を目的に、アンガーマネジメントの基礎知識や怒りの感情と上手に付き合う方法を学ぶ」 | ここのファミリークリニック 河野 千恵氏 |
| 7/25 | 外部講師を招聘した講演会 はごろも『夢』講演会 ペップトーク 「今日、出会う人にとって一番素敵な人になる」 大人も子どもやる気になるペップトーク 「教職員と保護者が、ともに子どもを理解し、前向きに背中を押すような肯定的な働きかけができるようになるペップトークの手法を学び、今後の学校や家庭でのコミュニケーションに活かす」 | 一般社団法人日本ペップトーク普及協会 代表理事 岩崎 由純氏 |
| 7/29 | 防災研修 「被災地の避難所の実情や発災時の県職員の動き等についての講話を通して、災害時の避難所運営の課題を学ぶ」 | 静岡県中部地区地域局 危機管理課主査 杉浦 瑠依氏 静岡市危機管理局 危機管理課 保坂 和範氏 |
| 7/30 | 職員歯科研修 「障害がある児童生徒の誤嚥・窒息の予防のために、食事場面での安全と危険について学び、日常支援に活かす」 | 明海大学歯学部摂食嚥下リハビリテーション学講座 教授 大岡 貴史氏 |
| 8/4 | 人権研修「心理的安全性の作り方」 「講話やグループワークを通して、「私も大切、あなたも大切」という本校の人権教育目標を再確認し、児童生徒一人ひとりの人権を尊重した指導の実践に繋げる」 | ことのはスクエア キャリアコンサルタント 橋本 恵子氏 |
| 10/10 | ICTプロジェクト秋季校内学習会 「具体的な実践例を通して、重度知的障害の子どもたちの表出を引き出すためのコミュ | 株式会社童夢 代表取締役 中谷 正恵氏 次女 中谷 あき氏 |

| | | |
|-------|---|-------------------|
| | ニケーション手段（PECS）について学ぶ」 | |
| 11/13 | 外部講師を招聘した講演会 「子どもと教師が創る授業～各教科等を合わせた指導の魅力～」 「知的障害教育が大切にしてきた各教科等を合わせた指導の特長について理解し、自身の授業づくりについて実践を振り返り、授業改善に生かす」 | 植草学園大学特命教授 佐藤 慎二氏 |

6 防災対策について

(1) 危機管理マニュアルについて

- ・防災、防犯に関して、各分掌が連携し、緊急時に対応できるように「危機管理マニュアル」を作成している。また、避難所運営のための研修会を行い、避難所運営マニュアル作成を進めている。より実地的なものとするため、随時見直しを図り、職員会議等で確認、周知している。
- ・静岡県中部地域局や静岡市危機管理局、学校運営協議会に参加いただいた近隣の方々と、本校の災害対策や避難所開設の手順などを確認した。避難所開設に向けての具体的な手順や指示書、マニュアルの作成に取り組んでいく。

(2) 防災備品について

- ・食料品：基本7日分を備蓄（うち、家庭からは3日分）
- ・備蓄水：県の指針に従い、生徒数18%+フルタイム職員（162名）×3L×3日の1,458Lを目標に飲料水を備蓄している。令和7年2,745L（危機管理マニュアル生活資料4）
- ・個人用の医薬品：3日分の緊急用の薬を希望により預かっている。
- ・寝具：緊急の宿泊に備え、児童生徒は寝袋、職員は簡易のブランケットを用意している。
- ・そのほか：カセットコンロ、マンホールトイレ、発電機、照明器具等

(3) 情報収集・伝達について

- ・静岡市や地域の自主防災との連携を図り、連絡手段を確認して、具体的な対応を進めている。
- ・発災時、発災後の情報伝達について複数の手段を講じる。
- ・COCOOによるメール発信 ・ホームページ発信 ・電話 ・地域の無線

(4) 防災訓練について

令和7年度の防災訓練

| 実施月 | 活動内容 | 訓練内容 |
|-----|------------------------------|--|
| 4月 | 職員防災講習 防災訓練（地震） | 職員による危機管理マニュアル、防災備品等の確認 大規模地震発生を想定した避難経路、避難方法の確認 |
| 5月 | 引き渡し訓練 防災訓練（火災） 職員防犯研修 | 保護者への引き渡し訓練 避難経路、避難場所の確認、情報伝達訓練、通報訓練 職員による不審者対応訓練 |
| 7月 | 職員防災研修会 | 避難所の実際の様子と課題について 静岡県中部地域局危機管理課 杉浦 瑠依氏 静岡市危機管理局危機管理課 保坂 和範氏 |

| | | |
|-----|--------------------|--|
| 9月 | 連絡訓練 | 災害用伝言ダイヤル171の再生 |
| 11月 | 総合防災訓練 | 大規模地震を想定した避難経路、避難方法の確認 スモークハウス、水消火器、炊き出し体験（赤十字防災セミナー）、避難所設営体験、非常食体験 |
| 2月 | 第防災訓練（地震・火事） | 地震発生後に火災が起こった状況を想定しての訓練 |
| 隔月 | スクールバスライフジャケット着用訓練 | 津波対策訓練として児童生徒の着用練習 （7、9、10、11、12、1、2月） |

7 学校開放について

(1) 令和6年度

| 施設名 | 利用団体数 | 利用回数 | 利用人数 (延人数) | 受講料 | 実施種目 | 利用者負担金 (電気料) |
|-----|-------|------|---------------|-----|-------------|-----------------|
| 運動場 | 4 | 31回 | 1,604人 | 0円 | フットベースボール等 | 0円 |
| 体育館 | 6 | 137回 | 2,256人 | 0円 | 一輪車・バレーボール等 | 96,977円 |

(2) 令和7年度

(令和6年9月30日現在)

| 施設名 | 利用団体数 | 利用回数 | 利用人数 (延人数) | 受講料 | 実施種目 | 利用者負担金 (電気料) |
|-----|-------|------|---------------|-----|-------------|-----------------|
| 運動場 | 2 | 17回 | 279人 | 0円 | フットベースボール等 | 0円 |
| 体育館 | 6 | 87回 | 1,200人 | 0円 | 一輪車・バレーボール等 | 30,032円 |

事務執行の根拠法令調

| 項 目 | 根拠法令 |
|------------------|---|
| 1 学校教育に関すること | 教育基本法（第1条、第2条、第6条、第9条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第74条、第76条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第4条） 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第3条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡市就学指導委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領 |
| 2 学校の管理・運営に関すること | 学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱 |

□□□□

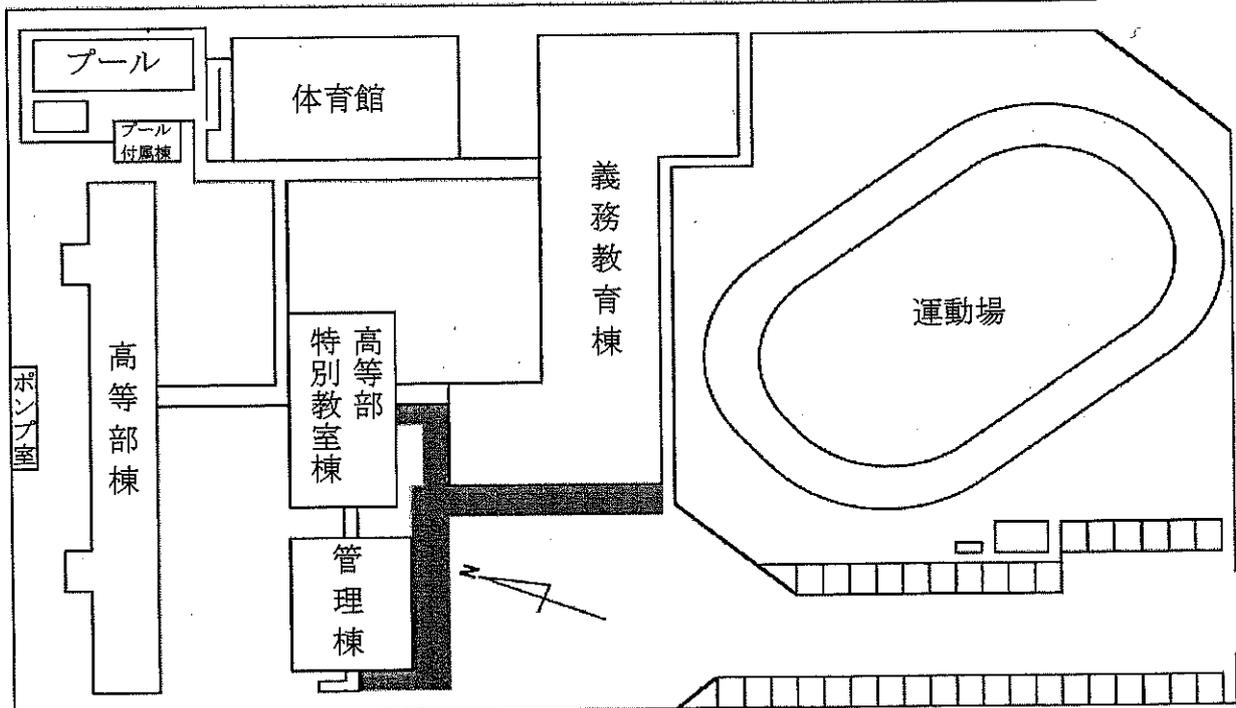
学校施設の概要

1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

| 区 分 | 面 積 m ² | 所 有 内 訳 | | | | | 摘 要 |
|---------|------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|
| | | 県 有 m ² | 国 有 m ² | 市町村有 m ² | 後援会有 m ² | 民 有 m ² | |
| 学 校 敷 地 | 19,999.95 | 19,019.35 | | 980.6 | | | |
| 内 訳 | 校舎敷地 | 3,918.34 | 3,918.34 | | | | |
| | 運動場敷地 | 5,547.50 | 5,547.50 | | | | |
| | その 他 の 敷 地 | 10,534.11 | 9,553.51 | | 980.6 | | |
| 校 舎 | 建 3,241.98 | 3,241.98 | | | | | |
| | 延 6,454.66 | 6,454.66 | | | | | |
| 体 育 館 | 建 566.56 | 566.56 | | | | | |
| | 延 543.73 | 543.73 | | | | | |
| その他の建物 | 建 109.80 | 109.80 | | | | | |
| | 延 109.80 | 109.80 | | | | | |
| プ ー ル | 2 | 2 | | | | | 25×8m 10×5m |

2 配置・規模等



(1) 校舎等の配置図

(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

| 区 分 | 学校敷地面積 | 校舎延面積 | 運動場面積 |
|-----|-------------------------|------------------------|------------------------|
| 当 校 | 19,999.95m ² | 6,454.66m ² | 5,547.50m ² |
| 県平均 | 19,266.88m ² | 6,361.36m ² | 5,302.07m ² |

在 籍 生 徒 調

(令和7年9月30日現在)

| 学年 | 学部別 区分 | 小学部 | | | 中学部 | | | 高等部 | | | |
|-------|-----------|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|----|
| | | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 | 計 | 定員 | 男子 | 女子 | 計 |
| 1年 | 入学者 | 14 | 4 | 18 | 12 | 7 | 19 | | 25 | 7 | 32 |
| | 増加 | | | 0 | | | 0 | | | | 0 |
| | 減少 | | | 0 | | | 0 | | 1 | | 1 |
| | 現在 | 14 | 4 | 18 | 12 | 7 | 19 | | 24 | 7 | 31 |
| 2年 | 入学者 | 12 | 1 | 13 | 9 | 10 | 19 | | 26 | 8 | 34 |
| | 増加 | | | 0 | | | 0 | | | | 0 |
| | 減少 | | | 0 | | | 0 | | | | 0 |
| | 2年時当初 | 12 | 1 | 13 | 9 | 10 | 19 | | 26 | 8 | 34 |
| | 増加 | | | 0 | | | 0 | | | | 0 |
| | 減少 | | | 0 | | | 0 | | | | 0 |
| | 現在 | 12 | 1 | 13 | 9 | 10 | 19 | | 26 | 8 | 34 |
| 3年 | 入学者 | 11 | 3 | 14 | 13 | 8 | 21 | | 16 | 11 | 27 |
| | 増加 | | | 0 | | | 0 | | | | 0 |
| | 減少 | | | 0 | | | 0 | | | 1 | 1 |
| | 2年時当初 | 11 | 3 | 14 | 13 | 8 | 21 | | 16 | 10 | 26 |
| | 増加 | | | 0 | | | 0 | | | | 0 |
| | 減少 | | | 0 | | 1 | 1 | | | | 0 |
| | 3年時当初 | 11 | 3 | 14 | 13 | 7 | 20 | | 16 | 10 | 26 |
| 増加 | | | 0 | | | 0 | | | | 0 | |
| 減少 | | | 0 | | | 0 | | | 1 | 1 | |
| | 現在 | 11 | 3 | 14 | 13 | 7 | 20 | | 16 | 9 | 25 |
| 4年 | 入学者 | 7 | 5 | 12 | | | | | | | |
| | 増加 | | | 0 | | | | | | | |
| | 減少 | | | 0 | | | | | | | |
| | 2年時当初 | 7 | 5 | 12 | | | | | | | |
| | 増加 | 1 | | 1 | | | | | | | |
| | 減少 | | | 0 | | | | | | | |
| | 3年時当初 | 8 | 5 | 13 | | | | | | | |
| | 増加 | | 1 | 1 | | | | | | | |
| | 減少 | | | 0 | | | | | | | |
| | 4年時当初 | 8 | 6 | 14 | | | | | | | |
| 増加 | | | 0 | | | | | | | | |
| 減少 | | | 0 | | | | | | | | |
| | 現在 | 8 | 6 | 14 | | | | | | | |
| 5年 | 入学者 | 10 | 6 | 16 | | | | | | | |
| | 増加 | | | 0 | | | | | | | |
| | 減少 | | | 0 | | | | | | | |
| | 2年時当初 | 10 | 6 | 16 | | | | | | | |
| | 増加 | | | 0 | | | | | | | |
| | 減少 | | | 0 | | | | | | | |
| | 3年時当初 | 10 | 6 | 16 | | | | | | | |
| | 増加 | | 1 | 1 | | | | | | | |
| | 減少 | | | 0 | | | | | | | |
| | 4年時当初 | 10 | 7 | 17 | | | | | | | |
| 増加 | | | 0 | | | | | | | | |
| 減少 | | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 5年時当初 | 10 | 6 | 16 | | | | | | | | |
| 増加 | | | 0 | | | | | | | | |
| 減少 | | | 0 | | | | | | | | |
| | 現在 | 10 | 6 | 16 | | | | | | | |
| 6年 | 入学者 | 12 | 3 | 15 | | | | | | | |
| | 増加 | | | 0 | | | | | | | |
| | 減少 | | | 0 | | | | | | | |
| | 2年時当初 | 12 | 3 | 15 | | | | | | | |
| | 増加 | 2 | | 2 | | | | | | | |
| | 減少 | | | 0 | | | | | | | |
| | 3年時当初 | 14 | 3 | 17 | | | | | | | |
| | 増加 | | | 0 | | | | | | | |
| | 減少 | | | 0 | | | | | | | |
| | 4年時当初 | 14 | 3 | 17 | | | | | | | |
| | 増加 | | | 0 | | | | | | | |
| | 減少 | | | 0 | | | | | | | |
| | 5年時当初 | 14 | 3 | 17 | | | | | | | |
| 増加 | | | 0 | | | | | | | | |
| 減少 | | | 0 | | | | | | | | |
| 6年時当初 | 14 | 3 | 17 | | | | | | | | |
| 増加 | 1 | | 1 | | | | | | | | |
| 減少 | | | 0 | | | | | | | | |
| | 現在 | 15 | 3 | 18 | | | | | | | |
| 合 計 | | 70 | 23 | 93 | 34 | 24 | 58 | | 66 | 24 | 90 |

□□□□□

入学志願者及び入学者数調

| 区 分 | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|--------------|-------|------|------|------|------|------|
| 学 科 別 | | 高等部 | 高等部 | 高等部 | 高等部 | 高等部 |
| 生徒定員 (A) | | 39 | 48 | 30 | 39 | 39 |
| 募集者数 (B) | | 39 | 48 | 30 | 39 | 39 |
| 志願者数 | 男 | 27 | 30 | 17 | 26 | 25 |
| | 女 | 12 | 14 | 11 | 8 | 7 |
| | 計(C) | 39 | 44 | 28 | 34 | 32 |
| 受検者数 | 男 | 27 | 30 | 17 | 26 | 25 |
| | 女 | 12 | 14 | 11 | 8 | 7 |
| | 計(D) | 39 | 44 | 28 | 34 | 32 |
| 合格者数 | 男 | 27 | 30 | 17 | 26 | 25 |
| | 女 | 12 | 14 | 11 | 8 | 7 |
| | 計(E) | 39 | 44 | 28 | 34 | 32 |
| 志願倍率 (C)/(B) | | 1.00 | 0.92 | 0.93 | 0.87 | 0.82 |
| 受検倍率 (D)/(B) | | 1.00 | 0.92 | 0.93 | 0.87 | 0.82 |
| 入学者数 | 男 | 27 | 30 | 16 | 26 | 25 |
| | 女 | 12 | 14 | 11 | 8 | 7 |
| | 計 (F) | 39 | 44 | 27 | 34 | 32 |
| 充足率 (F)/(A) | | 1.00 | 0.92 | 0.90 | 0.87 | 0.82 |

□□□□□□

卒業生の動向調

| 区 分 | | 中学部 | 高 等 部 | | 合 計 |
|-----------------|---------------|-----|-------|-----|-----|
| | | | 本 科 | 専攻科 | |
| 高等学校 (本科) | 全日制 | | | | |
| | 定時制 | | | | |
| | 通信制 | | | | |
| 特別支援学校高等部 | | 19 | | | 19 |
| その他高等学校等 | | | | | |
| 大学等 | 大学(学部) | | | | |
| | 短期大学(本科) | | | | |
| | 大学・短大の通信教育学部等 | | | | |
| | その他大学等 | | | | |
| 特別支援学校高等部専攻科 | | | | | |
| 専修学校(専門課程) | | | | | |
| 専修学校(一般課程)・各種学校 | | | | | |
| 公共職業能力開発施設等 | | | 1 | | 1 |
| 就 職 | | | 15 | | 15 |
| 上記以外※ | | 1 | 27 | | 28 |
| 不詳・死亡 | | | | | |
| 計(卒業生総数) | | 20 | 43 | | 63 |

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

| 区 分 | | 中学部 | 高 等 部 | | 合 計 |
|----------------|--|-----|-------|-----|------|
| | | | 本 科 | 専攻科 | |
| 児童福祉施設 | | | | | |
| 障害者支援施設 | | 1 | 27 | | 28 |
| (うち就労系支援事業利用者) | | 0 | (15) | | (15) |
| 医療機関 | | | | | |
| 計 | | 1 | 27 | | 28 |

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

| 市町名 | 静岡市 | 富士市 | 合計 |
|------|-------|------|------|
| 生徒数 | 239 | 2 | 241 |
| 構成比% | 99.2% | 0.8% | 100% |

(2) 通学方法 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

| 区分 | スクールバス通学者 (スクールバス停まで) | | | その他の通学者 (自立通学者等) | | | | | 合計 |
|------|--------------------------|-------|-------|---------------------|------|--------------|-------|-------|------|
| | 徒歩 | 自家用車 | 計 | 徒歩 | 自転車 | 路線バス 又は電車 | 自家用車 | 計 | |
| 生徒数 | 31 | 108 | 139 | 10 | 21 | 30 | 41 | 102 | 241 |
| 構成比% | 12.9% | 44.8% | 57.7% | 4.1% | 8.7% | 12.5% | 17.0% | 42.3% | 100% |

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

| 区分 | 高等部 | | | 計 | |
|---------|-------|-------|-------|----|-------|
| | 運動部 | 文化部 | 未加入者 | | |
| 部(クラブ)数 | 3 | 2 | 0 | 5 | |
| 男子 | 1年 | 8 | 16 | 0 | 24 |
| | 2年 | 16 | 10 | 0 | 26 |
| | 3年 | 12 | 4 | 0 | 16 |
| | 計(A) | 36 | 30 | 0 | 66 |
| | 構成比% | 40.0% | 33.3% | 0% | 73.3% |
| 女子 | 1年 | 0 | 7 | 0 | 7 |
| | 2年 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| | 3年 | 1 | 8 | 0 | 9 |
| | 計(B) | 1 | 23 | 0 | 24 |
| | 構成比 | 1.1% | 25.6% | 0% | 26.7% |
| 合計 | (A+B) | 37 | 53 | 0 | 90 |
| | 構成比 | 41.1% | 58.9% | 0% | 100% |

3 障害別児童生徒数

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

| 区 分 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合 計 | 学級数 |
|-----|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 小学部 | 単一障害 | 7 | 9 | 8 | 7 | 10 | 6 | 47 | 11 |
| | 重複障害 | 11 | 4 | 6 | 7 | 6 | 12 | 46 | 17 |
| | 肢体重複 | | | | | | | | |
| | 合計 | 18 | 13 | 14 | 14 | 16 | 18 | 93 | 28 |
| 中学部 | 単一障害 | 14 | 13 | 13 | | | | 40 | 9 |
| | 重複障害 | 5 | 6 | 7 | | | | 18 | 7 |
| | 肢体重複 | | | | | | | | |
| | 合計 | 19 | 19 | 20 | | | | 58 | 16 |
| 高等部 | 単一障害 | 28 | 31 | 23 | | | | 82 | 11 |
| | 重複障害 | 3 | 3 | 2 | | | | 8 | 3 |
| | 肢体重複 | | | | | | | | |
| | 合計 | 31 | 34 | 25 | | | | 90 | 14 |

4 起因疾患別児童生徒数

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

| 区 分 | 脳性 疾患 | 染色体異常 | | 遺伝性 疾患 | 自閉スペク トラム症 | 発達 障害 | 発達 遅滞 | その他 | 計 |
|-----|----------|--------|-----|-----------|---------------|----------|----------|-----|-----|
| | | ダウン症候群 | その他 | | | | | | |
| 小学部 | 0 | 16 | 3 | 2 | 53 | 0 | 17 | 2 | 93 |
| 中学部 | 0 | 15 | 1 | 2 | 32 | 0 | 7 | 1 | 58 |
| 高等部 | 0 | 11 | 3 | 2 | 37 | 3 | 30 | 4 | 90 |
| 計 | 0 | 42 | 7 | 6 | 122 | 3 | 54 | 7 | 241 |

□□□□□

特別支援学校における生産物売払調

令和7年度

(令和7年9月30日現在)

| | | 主な生産品目 | |
|-------------|---|---|------------|
| 7 年 度 | <農工芸品> | 野菜（各種） | |
| | <食品加工品> | ドライトマト、じゃがいもパウダー、ローリエ、ポプリ | |
| | <印刷工芸品> | 一筆箋、シズラメモ、シズラやることメモ | |
| | <木工芸品> | 組子コースター | |
| | ①売払金額 | 66,000 円 | ②前年度との差額 |
| | | | △473,820 円 |
| 6 年 度 | <農工芸品> | ポプリ、ドライフルーツ、ハーブティー、野菜（各種） | |
| | <印刷工芸品> | ノート、名刺、シズラメモ、シズラやることメモ、カレンダー | |
| | <縫製工芸品> | トートバック、ペンケース、ポーチ、小物ケース、カードケース、なべしき、ティッシュケース、マグネット | |
| | <リサイクル工芸品> | キャンドル、ガラス製品、鉢ポット、小皿 | |
| | <木工芸品> | 組子コースター、ペン立て、なべしき | |
| | <作業品> | レザー製品、ヘアゴム、ペンケース、カードケース、ポチ袋、バスケット、巾着、調理油取り | |
| | ①売払金額 | 539,820 円 | ②前年度との差額 |
| | | | 253,670 円 |
| 5 年 度 | <農工芸品> | とうがらしパウダー、ハーブティー、ペペロンチーノ、ポプリセット、ハーブソルト、ドライフルーツ、ハーバリウム、フラワーボックス、野菜（各種） | |
| | <印刷工芸品> | メモ帳、ノート、ポチ袋、フレックシート、名刺（片面印刷） | |
| | <縫製工芸品> | トートバッグ、ペンケース、ポーチ、印鑑ケース、名刺入れ | |
| | <リサイクル工芸品> | キャンドル、アロマワックスサシェ、キャンドル、脱臭剤、ガラス製品、鉢ポット | |
| | <木工芸品> | 組子コースター、ペン立て、なべしき、積木式崩壊タワーゲーム | |
| <作業品> | 巾着袋、調理油取り、鍋敷き、籠バック、クラフトバンド製品、ペーパークラフト製品 | | |
| | ①売払金額 | 286,150 円 | ②前年度との差額 |
| | | | 99,350 円 |

□□□□□

預 金 調

(令和7年9月30日現在)

| 金融機関名 | 預金種類 | 口座番号 | 口座名義人 | 残高 (円) | 摘 要 |
|-----------|--------------|---------|--------------------------------------|--------|---------------------|
| 清水銀行 高橋支店 | 無利息型普通 預金 | 2171782 | 静岡県立清水特別支援学校 資金前渡者 片岡 佳美 | 0 | 教職員給料、資 金前渡金受領用 |
| 清水銀行 高橋支店 | 無利息型普通 預金 | 2171791 | 静岡県立清水特別支援学校 資金前渡者 片岡 佳美 | 0 | 光熱水費等口座 振替用(自振口) |
| 清水銀行 高橋支店 | 無利息型普通 預金 | 2173564 | 静岡県立清水特別支援学校 就学奨励費 代理受領者 片岡 佳美 | 0 | 児童・生徒就学 奨励費受領用 |
| 残 高 合 計 | | | | 0 | |

□□□□□□

調 査 受 入 等 券 郵

(令和7年9月30日現在)

(単位:枚、円)

| 区 分 | 種 類 | 令和6年度 | | | | | | 令和7年度 | | | | | | 摘 要 | | | |
|-----|-------|-------|----|-----|-----|-----|-----|-------|----|-----|----|-----|----|-----|-------|----|-----|
| | | 繰 越 | | 受 入 | | 払 出 | | 繰 越 | | 受 入 | | 払 出 | | | 差引現在高 | | |
| | | 枚数 | 金額 | 枚数 | 金額 | 枚数 | 金額 | 枚数 | 金額 | 枚数 | 金額 | 枚数 | 金額 | | 枚数 | 金額 | |
| 郵便 | 往復はがき | 0 | 0 | 1 | 170 | 1 | 170 | 170 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 申請用 |
| 計 | | | 0 | | 170 | | 170 | 170 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

□□□□□

材 料 品 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

| 区分 品名 | 令 和 6 年 度 | | | | | | 令 和 7 年 度 | | | | | | 摘要 | | |
|-----------|-----------|-----------|------------|---------|------------|---------|-----------|-----------|----------|---------|----------|-----------|----|-------|-----------|
| | 繰 越 | | 受 入 | | 払 出 | | 繰 越 | | 受 入 | | 払 出 | | | 差引現在高 | |
| | 数量 | 金額 (円) | 数量 | 金額(円) | 数量 | 金額(円) | 数量 | 金額 (円) | 数量 | 金額(円) | 数量 | 金額 (円) | | 数量 | 金額 (円) |
| 木材 | 0 | 0 | 個 2,000 | 138,600 | 個 2,000 | 138,600 | 0 | 0 | 個 250 | 24,750 | 個 250 | 24,750 | 0 | 0 | |
| 布 | 0 | 0 | m 289 | 121,719 | m 289 | 121,719 | 0 | 0 | m 86 | 81,420 | m 86 | 81,420 | 0 | 0 | |
| 革紐 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 本 2 | 4,400 | 本 2 | 4,400 | 0 | 0 | |
| パラコード | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 本 14 | 14,537 | 本 14 | 14,537 | 0 | 0 | |
| 紙 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 枚 2 | 10,544 | 枚 2 | 10,544 | 0 | 0 | |
| キャンドル芯 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | パック 3 | 2,372 | パック 3 | 2,372 | 0 | 0 | |
| くるみボタンキット | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 個 2 | 5,581 | 個 2 | 5,581 | 0 | 0 | |
| 計 | | 0 | | 260,319 | | 260,319 | | 0 | | 143,604 | | 143,604 | | 0 | |

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

| 節名 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 執行済額 (円) | | |
|-----------------------------|------|-------|------------|--------------|----------|-----------------|---|
| | | | | | 5年度 | 6年度 | |
| | | | | | | 左のうち、5年度からの繰越額分 | |
| (12) 委託料 | 01一般 | 11教育費 | 07 特別支援学校費 | 02 特別支援学校管理費 | | 72,737,764 | |
| | 01一般 | 11教育費 | 08 学校教育費 | 04 健康体育費 | | 13,529,714 | |
| 計 | | | | | | 86,267,478 | 0 |
| (14) 工事 請負費 | | | | | | | |
| 計 | | | | | | 0 | 0 |
| (16) 公有財産 購入費 | | | | | | | |
| 計 | | | | | | 0 | 0 |
| (17) 備品 購入費 | 01一般 | 11教育費 | 07 特別支援学校費 | 02 特別支援学校管理費 | | 1,026,300 | |
| | | | | | | | |
| 計 | | | | | | 1,026,300 | 0 |
| (18) 負担金、 補助及び 交付金 | 01一般 | 11教育費 | 07 特別支援学校費 | 02 特別支援学校管理費 | | 31,000 | |
| | | | | | | | |
| 計 | | | | | | 31,000 | 0 |
| (21) 保障、補 填及び賠 償金 | | | | | | | |
| 計 | | | | | | 87,324,778 | 0 |

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

| 節名 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 執行済額(円) | |
|-----------------------------|------|-------|------------|--------------|------------|---------------|
| | | | | | | うち、6年度からの繰越額分 |
| (12) 委託料 | 01一般 | 12教育費 | 07 特別支援学校費 | 02 特別支援学校管理費 | 30,198,135 | 0 |
| | 01一般 | 12教育費 | 08 学校教育費 | 04 健康体育費 | 5,597,955 | 0 |
| 計 | | | | | 35,796,090 | 0 |
| (14) 工事 請負費 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 計 | | | | | 0 | 0 |
| (16) 公有財産 購入費 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 計 | | | | | 0 | 0 |
| (17) 備品 購入費 | 01一般 | 12教育費 | 07 特別支援学校費 | 02 特別支援学校管理費 | 118,800 | |
| | | | | | | |
| 計 | | | | | 118,800 | 0 |
| (18) 負担金、 補助及び 交付金 | 01一般 | 12教育費 | 07 特別支援学校費 | 02 特別支援学校管理費 | 29,000 | |
| | | | | | | |
| 計 | | | | | 29,000 | 0 |
| (21) 保障、補 填及び賠 償金 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 計 | | | | | 35,943,890 | 0 |

委託料に関する調

(令和6年度)

| 整理番号 | 委託業務名 | 受託者 | 当初設計金額 | 契約金額 | | | 契約締結方法 | 契約期間 | 支出年月日 | 金額 | 委託業務の内容 | 摘要 |
|-------|--------------|-----------------------|-------------|-------------|-------|-------------|--------|------------------------|---------|-------------|-------------------------|------------------------------------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 | | | | | | |
| 1 | 通学バス輸送業務 | 静鉄ジョイスステップバス(株)旅行営業課 | 224,161,960 | 217,110,080 | 0 | 217,110,080 | 一般 | 6.4.1 ～ 9.3.31 | 支払済累計額 | (0) | 児童生徒の通学輸送 | 6長期 |
| | | | | | | | | | 6.5.24 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 6.6.25 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 6.7.25 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 6.8.23 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 6.9.25 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 6.10.25 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 6.11.25 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 6.12.25 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 7.1.24 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 7.2.25 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 7.3.25 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 7.4.25 | 6,030,827 | | |
| | 小計 | 72,369,924 | | | | | | | | | | |
| 2 | 学校給食業務 | 協同組合焼津給食センター | 42,696,896 | 36,521,793 | 0 | 36,521,793 | 一般 | 5.10.16 ～ 8.7.31 | 支払済累計額 | (6,445,032) | 給食の調理・配膳・配缶 | 5長期 |
| | | | | | | | | | 6.5.28 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 6.6.27 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 6.7.26 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 6.8.27 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 6.9.27 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 6.10.28 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 6.11.27 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 6.12.26 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 7.1.27 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 7.2.27 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 7.3.27 | 1,074,172 | | |
| | | | | | | | | | 7.4.28 | 1,074,172 | | |
| | 小計 | 12,890,064 | | | | | | | | | | |
| 3 | 防風防虫業務 | ㈱総合美装ワタナベ | 435,600 | 374,000 | 0 | 374,000 | 随契 | 6.7.8 ～ 7.3.31 | 6.9.6 | 187,000 | 給食室の防風・防虫 | 随契1号(少額) 静岡視覚・聴覚障害・静岡北・中央特別支援学校 |
| | | | | | | | | | 7.4.17 | 187,000 | | |
| | | | | | | | | 小計 | | 374,000 | | |
| 4 | エレベーター保守点検業務 | ジャパンエレベーターサービス株式会社(株) | 264,000 | 225,720 | 0 | 225,720 | 随契 | 6.4.1 ～ 7.3.31 | 7.4.16 | 225,720 | エレベーター設備の保守点検・維持管理 | 随契1号(少額) |
| 5 | 清掃及び産業廃棄物処理 | 静岡ライフクリーン㈱ | 25,300 | 25,300 | 0 | 25,300 | 随契 | 6.7.29 ～ 6.9.20 | 6.9.13 | 25,300 | 給食室厨房グリストラップの清掃・汚泥の収集運搬 | 随契1号(少額) |
| 6 | 清掃及び産業廃棄物処理 | 静岡ライフクリーン㈱ | 203,610 | 203,610 | 0 | 203,610 | 随契 | 6.12.10 ～ 7.3.31 | 7.2.12 | 51,260 | 給食室厨房グリストラップの清掃・汚泥の収集運搬 | 随契1号(少額) |
| | | | | | | | | | 7.4.11 | 152,350 | | |
| | | | | | | | | 小計 | | 203,610 | | |
| 7 | 産業廃棄物処理 | 日興サービス㈱ | 16,500 | 16,500 | 0 | 16,500 | 随契 | 6.7.29 ～ 6.9.20 | 6.9.13 | 16,500 | グリストラップ汚泥の処分 | 随契1号(少額) |
| 8 | 産業廃棄物処理 | 日興サービス㈱ | 36,960 | 36,960 | 0 | 36,960 | 随契 | 6.12.10 ～ 7.3.31 | 7.2.4 | 20,460 | グリストラップ汚泥の処分 | 随契1号(少額) |
| | | | | | | | | | 7.4.11 | 16,500 | | |
| | | | | | | | | 小計 | | 36,960 | | |
| 9 | 産業廃棄物処理 | 丸徳商事㈱ | 41,800 | 41,800 | 0 | 41,800 | 随契 | 6.5.15 ～ 6.8.31 | 6.7.18 | 41,800 | 不燃物の収集・運搬・処分 | 随契1号(少額) |
| 10 | 産業廃棄物処理 | 丸徳商事㈱ | 41,800 | 41,800 | 0 | 41,800 | 随契 | 6.7.22 ～ 6.10.31 | 6.9.20 | 41,800 | 不燃物の収集・運搬・処分 | 随契1号(少額) |
| | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 産業廃棄物処理 | 丸徳商事㈱ | 41,800 | 41,800 | 0 | 41,800 | 随契 | 7.1.27 ～ 7.3.31 | 7.4.24 | 41,800 | 不燃物の収集・運搬・処分 | 随契1号(少額) |
| 事務関係計 | | - | 11件 | - | - | - | - | - | - | 86,267,478 | - | - |
| 合計 | | - | 11件 | - | - | - | - | - | - | 86,267,478 | - | - |

委託料に関する調

(令和6年度)

| 整理番号 | 委託業務名 | 受託者 | 当初設計金額 | 契約金額 | | | 契約締結方法 | 契約期間 | 支出年月日 | 金額 | 委託業務の内容 | 摘要 |
|------|---------------------|-------------|--------|-----------------------------------|--------|-----------------------------------|--------|------------------------|-------|----|-------------------|--------------------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 | | | | | | |
| 参考1 | 警備業務 | 総合警備保障㈱静岡支社 | / | 円 6,567,000 | 円 0 | 円 6,567,000 | / | 1.10.1 ～ 6.9.30 | / | / | 学校施設の機械警備 | 清水東高等学校外3校 |
| 参考2 | 警備業務 | 総合警備保障㈱静岡支社 | / | 円 7,128,000 | 円 0 | 円 7,128,000 | / | 6.10.1 ～ 11.9.30 | / | / | 学校施設の機械警備 | 清水東高等学校外3校 |
| 参考3 | 自家用電気工作物保安管理業務 | 高橋電気保安管理事務所 | / | 円 1,914,000 | 円 0 | 円 1,914,000 | / | 6.4.1 ～ 7.3.31 | / | / | 自家用電気工作物保安管理 | 清水南高等学校外3校 |
| 参考4 | 一般可燃物収集運搬処分業務 | 丸徳商事㈱ | / | 運搬料 18,700円/回 処分料 11円/kg | 円 0 | 運搬料 18,700円/回 処分料 11円/kg | / | 6.4.9 ～ 7.3.31 | / | / | 一般可燃物収集運搬・処分 | 清水西高等学校外3校 単価契約 |
| 参考5 | プール浄化装置保守点検業務 | 大学産業㈱ | / | 円 739,200 | 円 0 | 円 739,200 | / | 6.4.15 ～ 6.11.15 | / | / | プール浄化装置保守点検 | 静岡西高等学校外10校 |
| 参考6 | 消防用設備等保守点検業務 | ㈱コーセイ産業 | / | 円 2,298,824 | 円 0 | 円 2,298,824 | / | 6.4.1 ～ 7.3.31 | / | / | 消防用設備等保守点検 | 清水東高等学校外3校 |
| 参考7 | 建築基準法第12条に基づく定期点検業務 | ㈱コーセイ産業 | / | 円 1,812,690 | 円 0 | 円 1,812,690 | / | 6.9.17 ～ 7.2.28 | / | / | 建築基準法第12条に基づく定期点検 | 清水南高等学校外3校 |
| | 計 | 7件 | / | - | - | - | / | - | - | - | - | - |

委託料に関する調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

| 整理番号 | 委託業務名 | 受託者 | 当初設計金額 | 契約金額 | | | 契約締結方法 | 契約期間 | 支出年月日 | 金額 | 委託業務の内容 | 摘要 |
|------|------------|---------------------|-------------|-------------|--------|-------------|--------|------------------------|--------|--------------|--------------|------------------------------------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 | | | | | | |
| 1 | 通学バス輸送業務 | 静鉄ジョイステップバス(附旅行営業課) | 224,161,960 | 217,110,080 | 0 | 217,110,080 | 一般 | 6.4.1 ~ 9.3.31 | 支払済累計額 | (72,369,924) | 児童生徒の通学輸送 | 6長期 |
| | | | | | | | | | 7.5.23 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 7.6.25 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 7.7.29 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 7.8.28 | 6,030,827 | | |
| | | | | | | | | | 7.9.26 | 6,030,827 | | |
| 小計 | 30,154,135 | | | | | | | | | | | |
| 2 | 学校給食業務 | 協同組合焼津給食センター | 42,696,896 | 36,521,793 | 22,616 | 36,544,409 | 一般 | 5.10.16 ~ 8.7.31 | 支払済累計額 | (19,335,096) | 給食の調理・配膳・配缶 | 5長期 |
| | | | | | | | | | 7.5.27 | 1,075,591 | | |
| | | | | | | | | | 7.6.23 | 1,075,591 | | |
| | | | | | | | | | 7.7.22 | 1,075,591 | | |
| | | | | | | | | | 7.8.28 | 1,075,591 | | |
| | | | | | | | | | 7.9.26 | 1,075,591 | | |
| 小計 | 5,377,955 | | | | | | | | | | | |
| 3 | 防鼠防虫業務 | ㈱総合美装ワタナベ | 440,000 | 440,000 | 0 | 440,000 | 随契 | 7.7.7 ~ 8.3.31 | 7.9.12 | 220,000 | 給食室の防鼠・防虫 | 随契1号(少額) 静岡視覚・静岡聴覚・静岡北・中央特別支援学校 |
| 4 | 産業廃棄物処理 | 丸徳商事(株) | 44,000 | 44,000 | 0 | 44,000 | 随契 | 7.7.2 ~ 7.9.1 | 7.8.21 | 44,000 | 不燃物の収集・運搬・処分 | 随契1号(少額) |
| | 事務関係計 | - | 4件 | - | - | - | - | - | - | 35,576,090 | - | - |
| | 合計 | - | 4件 | - | - | - | - | - | - | 35,576,090 | - | - |

委託料に関する調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

| 整理番号 | 委託業務名 | 受託者 | 当初設計金額 | 契約金額 | | | 契約締結方法 | 契約期間 | 支出年月日 | 金額 | 委託業務の内容 | 摘要 |
|------|---------------------|------------------|--------|-----------------------------------|--------|-----------------------------------|--------|------------------------|-------|----|-------------------|--------------------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 | | | | | | |
| 参考1 | 警備業務 | 総合警備保障㈱ 静岡支社 | / | 円 7,128,000 | 円 0 | 円 7,128,000 | / | 6.10.1 ～ 11.9.30 | / | / | 学校施設の機械警備 | 清水東高等学校外3校 |
| 参考2 | 自家用電気工作物保安管理業務 | 高橋電気保安管理事務所 | / | 2,263,800 | 0 | 2,263,800 | / | 7.4.1 ～ 8.3.31 | / | / | 自家用電気工作物保安管理 | 清水南高等学校外3校 |
| 参考3 | 一般可燃物収集運搬処分業務 | 丸徳商事㈱ | / | 運搬料 19,800円/回 処分料 15円/kg | 0 | 運搬料 19,800円/回 処分料 15円/kg | / | 7.4.8 ～ 7.3.31 | / | / | 一般可燃物収集運搬・処分 | 清水西高等学校外3校 単価契約 |
| 参考4 | プール浄化装置保守点検業務 | 三笠産業㈱ | / | 774,400 | 0 | 774,400 | / | 7.4.14 ～ 7.11.28 | / | / | プール浄化装置保守点検 | 静岡西高等学校外9校 |
| 参考5 | 消防用設備等保守点検業務 | 静岡県消防設備保守点検業協同組合 | / | 5,610,000 | 0 | 5,610,000 | / | 7.4.1 ～ 8.3.31 | / | / | 消防用設備等保守点検 | 清水東高等学校外3校 |
| 参考6 | 建築基準法第12条に基づく定期点検業務 | ㈱コーセイ産業 | / | 2,221,890 | 0 | 2,221,890 | / | 7.9.19 ～ 8.2.27 | / | / | 建築基準法第12条に基づく定期点検 | 清水南高等学校外3校 |
| | 計 | 6件 | / | - | - | - | / | - | / | / | - | - |

□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

| 整理番号 | 負担金名 | 交付先 | 負担根拠 | 事業内容 | 負担金額 | 支出年月日 |
|------|-----------------------------|---------------------|-------|-----------------------------|--------|----------|
| 1 | 全国特別支援学校知的障害教育教頭研究大会参加費 | 全国特別支援学校知的障害教育研究大会 | 開催要項 | 知的障害教育振興並びに会員の研修 | 1,000 | 6. 6. 25 |
| 2 | 全国特別支援学校知的障害教育校長会会費 | 全国特別支援学校知的障害教育校長会 | 会則による | 知的障害教育振興並びに会員の研修 | 15,000 | 6. 7. 12 |
| 3 | 第47回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費 | 全国特別支援学校知的障害教育校長会 | 開催要項 | 知的障害教育振興並びに会員の研修 | 6,000 | 6. 7. 18 |
| 4 | 東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費 | 東海地区特別支援学校知的障害教育校長会 | 会則による | 知的障害教育振興並びに会員の研修 | 5,000 | 6. 7. 25 |
| 5 | 第48回東海地区特別支援学校知的障害教育研究大会参加費 | 東海地区特別支援学校知的障害教育校長会 | 開催要項 | 知的障害教育振興並びに会員の研修 | 2,000 | 6. 8. 13 |
| 6 | 東京学芸大学附属特別支援学校研究協議会参加費 | 東京学芸大学附属特別支援学校 | 開催要項 | 知的障害児の言語・コミュニケーションに関する研究協議会 | 2,000 | 7. 1. 23 |
| 計 | | | | | 6 件 | 31,000 |

□□□□□

負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

| 整理番号 | 負担金名 | 交付先 | 負担根拠 | 事業内容 | 負担金額 | 支出年月日 |
|------|-----------------------------|---------------------|-------|------------------|--------|----------|
| 1 | 第48回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費 | 全国特別支援学校知的障害教育校長会 | 開催要項 | 知的障害教育振興並びに会員の研修 | 3,000 | 7. 7. 3 |
| 2 | 全国特別支援学校知的障害教育校長会会費 | 全国特別支援学校知的障害教育校長会 | 会則による | 知的障害教育振興並びに会員の研修 | 15,000 | 7. 7. 10 |
| 3 | 第42回東海地区学校図書館研究大会参加費 | 東海地区学校図書館研究大会運営委員会 | 開催要項 | 学校図書館の在り方についての研修 | 3,000 | 7. 7. 11 |
| 4 | 東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費 | 東海地区特別支援学校知的障害教育校長会 | 会則による | 知的障害教育振興並びに会員の研修 | 5,000 | 7. 7. 30 |
| 5 | 第49回東海地区特別支援学校知的障害教育研究大会参加費 | 東海地区特別支援学校知的障害教育校長会 | 開催要項 | 知的障害教育振興並びに会員の研修 | 3,000 | 7. 9. 1 |
| 計 | | | | | 5 件 | 29,000 |

□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

| 区分 | 令和6年3月31日 現 在 | | 増 | | 減 | | 令和7年3月31日 現 在 | | 摘要 |
|----------------|--|-----------------|------------|------------|------------|--------------|--|-----------------|----|
| | 数量又 は面積 | 台 帳 価 格 | 数量又 は面積 | 台 帳 価 格 | 数量又 は面積 | 台 帳 価 格 | 数量又 は面積 | 台 帳 価 格 | |
| 行政財産 | | 千円 2,498,571 | | 千円 25 | | 千円 56,972 | | 千円 2,441,624 | |
| 土地 | m ² 19,019.35 | 1,669,084 | | | | | m ² 19,019.35 | 1,669,084 | |
| 立木竹 | 51本 | 741 | | | 1 | 21 | 50本 | 720 | |
| 建物 | m ² 3,918.34 7,108.19 | 705,874 | | | | 39,897 | m ² 3,918.34 7,108.19 | 665,977 | |
| 工作物 | 102個 | 122,872 | 2 | 25 | | 17,054 | 104個 | 105,843 | |
| 公有財産に 準ずるもの | | 146 | | | | | | 146 | |
| 電話加入権 | 2件 | 146 | | | | | 2件 | 146 | |

令和7年度中増減なし

□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

| 区分 | 事業名 又は 契約名 | 内容 | 契約額 | (契約額の年度別内訳) | | | | | | | | | | |
|--------------|------------------|--|-------------|-------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|---------|---------|---------|---------|
| | | | | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 | 11年度 | |
| 債務負担行為 | | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 長期 統 約 | 高速カラー印刷機貸借 | 高速カラー印刷機 1台 (契約日) 令和2年4月1日 | 5,709,000 | 1,141,800 | 1,141,800 | 1,141,800 | 1,141,800 | 1,141,800 | | | | | | |
| | カラーインクジェット複合機貸借 | カラーインク ジェット複合機2 台 (契約日) 令和7年4月1日 | 2,838,000 | | | | | | 567,600 | 567,600 | 567,600 | 567,600 | 567,600 | 567,600 |
| | 学校給食業務委託 | 学校給食の調理・ 配膳・配缶業務等 (契約日) 令和5年8月30日 | 36,544,409 | | | | 6,445,032 | 12,890,064 | 12,907,092 | 4,302,221 | | | | |
| | 通学バス輸送業務委託 | 児童生徒の通学輸 送業務 (契約日) 令和6年4月1日 | 217,110,080 | | | | | 72,369,924 | 72,369,924 | 72,370,232 | | | | |

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

| 整理 番号 | 区分 | 種別 | 所在地 | 地目 | | 数量又 は面積 | 貸付料又は 使用料 | | 貸付又は 使用許可 期間 | 貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名 | 貸付・ 使用許 可目的 |
|----------|----|----------|--------------------------|----------|----------|------------|--------------|------------|--------------------------|----------------------------------|-------------------|
| | | | | 台帳 | 現況 | | 単価 | 年額 | | | |
| 1 | 土地 | 学校 敷地 | 静岡市清水区 八坂東一丁目 16-1 | 学校 敷地 | 学校 敷地 | 0.15㎡ | 0 | 0 | 7. 2.17 ～ 7. 4.11 | 静岡市清水区 選挙管理委員 会 | 選挙用ポスタ ー掲示場 |
| 2 | 土地 | 学校 敷地 | 静岡市清水区 八坂東一丁目 16-1 | 学校 敷地 | 学校 敷地 | 1本 | 円 1,500 | 円 1,500 | 7. 4. 1 ～ 12. 3.31 | (株)トコちゃんね る静岡 | CATV施設 設置 |
| 3 | 土地 | 学校 敷地 | 静岡市清水区 八坂東一丁目 16-1 | 学校 敷地 | 学校 敷地 | 0.49㎡ | 0 | 0 | 7. 4. 1 ～ 8. 3.31 | 静岡市(都市 局都市計画部 都市計画事務 所) | 秋葉山公園施 設誘導サイン |
| 4 | 土地 | 学校 敷地 | 静岡市清水区 八坂東一丁目 16-1 | 学校 敷地 | 学校 敷地 | 1.00㎡ | 0 | 0 | 6. 4. 1 ～ 9. 3.31 | くらし・環境 部環境局水資 源課 | 地盤沈下調査 用埋設標石 |
| 5 | 土地 | 学校 敷地 | 静岡市清水区 八坂東一丁目 16-1 | 学校 敷地 | 学校 敷地 | 0.08㎡ | 0 | 0 | 7. 6.11 ～ 7. 8.17 | 静岡市清水区 選挙管理委員 会 | 選挙用ポスタ ー掲示場 |
| 合 計 | | | | | | | | 1,500 | | | |

主 要 備 品 調

(令和7年9月30日現在)

| 整理 番号 | 区分 | | 品名・規格 | 利用状況 | 購入年月 | 購入金額 |
|----------|-------|------------------|---|----------------------------------|---------|-----------|
| | 大・中 | 小 | | | | |
| 1 | 01-13 | その他の厨房器具 | 真空冷却機 三浦工業㈱CMJ-20QE 755×800×1640 3P200V | 毎日(年間175日) 給食調理に使用 | 平成22年3月 | 2,195,550 |
| 2 | 06-09 | 木工用機械 | 自動カンナ盤 常盤工業AD-501 | 月8回(年間82日) 木工工芸作業学習に使用 | 平成22年3月 | 1,940,400 |
| 3 | 01-13 | 調理器具 | コンビオープン ㈱アイホーACO-100GS 920×773×1700ガス式10段片面下部扉 | 毎日(年間175日) 給食調理に使用 | 平成22年3月 | 1,891,050 |
| 4 | 06-09 | 木工用機械 | ラジアルソー 日本精密機械工作㈱RMR-21A | 月8回(年間82日) 木工工芸作業学習に使用 | 平成22年3月 | 1,824,900 |
| 5 | 01-13 | 食品食器洗浄機 | 自動食器洗浄機 日本洗浄機㈱SDL-310GSH 1180×660×1340 | 毎日(年間175日) 給食食器の洗浄に使用 | 平成22年3月 | 1,782,900 |
| 6 | 01-04 | 移動書庫 | スライドハンドル式移動ラック 三進金属工業 複式移動3連有効段数5段×8台 | 常用(年間365日) 事務文書等保管に使用 | 平成22年3月 | 1,478,400 |
| 7 | 03-03 | プロジェクター | プロジェクター マクセルMC-BW302J 12台 | 毎日(年間197日) 授業で使用 | 令和3年3月 | 1,402,711 |
| 8 | 01-13 | 冷蔵(凍)庫 | パススルー冷蔵庫 ホシザキ電機㈱RF-120-4G4G 1200×850×1890 | 毎日(年間175日) 給食調理に使用 | 平成22年3月 | 1,303,050 |
| 9 | 01-13 | その他の厨房器具 | 電気式食器消毒保管機 ㈱アイホーEW-2503 2335×950×1920両面アジャスト脚 | 毎日(年間175日) 給食食器の消毒保管に使用 | 平成22年3月 | 1,284,150 |
| 10 | 02-01 | パーソナルコンピューター(一式) | パーソナルコンピューター(一式) タブレットPC(ソフトウェアを含む) | 使用なし 他所属の利活用又は廃棄を検討 | 平成29年1月 | 1,071,360 |
| 11 | 06-09 | 木工用機械 | 自動横切盤 協和製作所PW-1300A-HM | 月8回(年間82日) 木工工芸作業学習に使用 | 平成22年3月 | 1,026,900 |
| 12 | 01-13 | 冷蔵(凍)庫 | 冷凍冷蔵庫 ホシザキ電機㈱RF-150XT 1500×650×1890 | 毎日(年間175日) 給食調理に使用 | 平成22年3月 | 1,006,950 |
| 13 | 01-13 | 調理器具 | ステンレスガス回転釜 桐山工業㈱IG2DX-30RKH 1440×1110×810 | 毎日(年間175日) 給食調理に使用 | 令和5年3月 | 893,750 |
| 14 | 01-13 | 調理器具 | ステンレスガス回転釜 桐山工業㈱IG2DX-30RKH 1440×1110×810 | 毎日(年間175日) 給食調理に使用 | 令和5年3月 | 893,750 |
| 15 | 06-09 | 木工用機械 | 丸鋸昇降盤、送り機、スタンド 本体MAS-300、送り機IN-GMR6KB-Z、 スタンドSH-Z | 月8回(年間82日) 木工工芸作業学習に使用 | 平成24年2月 | 876,750 |
| 16 | 02-02 | テレビ | テレビ パイオニアEPD-C60E ブラズマ60インチ | 年10回 他所属の利活用又は廃棄を検討 | 平成22年1月 | 860,832 |
| 17 | 06-99 | その他の諸機器 | エコボット製作機ハチポッター2 アイコさいたまAK-1-3R | 月8回(年間82日) リサイクル工芸作業学習 に使用 | 平成22年8月 | 852,600 |
| 18 | 01-13 | その他の厨房器具 | 電気式食器消毒保管機 アイホーEW-1004N 975×950×1860片面アジャスト脚 | 毎日(年間175日) 給食食器の消毒保管に使用 | 平成23年2月 | 791,700 |
| 19 | 07-01 | 除草用機器 | 芝刈機 バルネックスGM-64A サルキ付 | 使用なし 他所属の利活用又は廃棄 を検討 | 平成22年3月 | 661,500 |
| 20 | 01-13 | 冷蔵(凍)庫 | 台下冷蔵庫 ホシザキ電機㈱RT-120SNE-ML 1200×600×800 1P100V | 毎日(年間175日) 給食調理に使用 | 平成22年3月 | 656,250 |

□□□□

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

| 整理 番号 | 職名 | 氏名 | 事務分担 | 住所 | 勤務年数 | 摘要 |
|----------|-----|--------|-------|-----|------|-----|
| 1 | 校長 | 片岡 佳美 | | □□□ | □□□ | □□□ |
| 2 | 副校長 | 鈴木 啓和 | | □□□ | □□□ | □□□ |
| 3 | 教頭 | 田代 美紀 | | □□□ | □□□ | □□□ |
| 4 | 事務長 | 遠藤 弘美 | 事務統括 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 5 | 教諭 | 岩田 一彦 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 6 | 教諭 | 勝見 浄実 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 7 | 教諭 | 綾部 敬 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 8 | 教諭 | 高山 尚子 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 9 | 教諭 | 齊藤 望 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 10 | 教諭 | 山下 基路 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 11 | 教諭 | 青島 治久 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 12 | 教諭 | 河原崎 文見 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 13 | 教諭 | 江田 紀美子 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 14 | 教諭 | 足立 恵子 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 15 | 教諭 | 中澤 裕司 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 16 | 教諭 | 青島 花恵 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 17 | 教諭 | 中村 啓恵 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 18 | 教諭 | 鈴木 育美 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 19 | 教諭 | 増田 悦子 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 20 | 教諭 | 奥山 保子 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 21 | 教諭 | 松井 幸江 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 22 | 教諭 | 廣 国陸 | 小学部主事 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 23 | 教諭 | 笈川 和子 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 24 | 教諭 | 山本 月乃 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 25 | 教諭 | 永井 いづみ | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 26 | 教諭 | 高木 佐恵子 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 27 | 教諭 | 加藤 秀文 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 28 | 教諭 | 伊藤 新 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 29 | 教諭 | 本杉 清一 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 30 | 教諭 | 大澤 里佳 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 31 | 教諭 | 田中 裕子 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 32 | 教諭 | 川原 貴之 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

| 整理 番号 | 職名 | 氏名 | 事務分担 | 住所 | 勤務年数 | 摘要 |
|----------|----|--------|-------|-----|------|-----|
| 33 | 教諭 | 高橋 美佐紀 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 34 | 教諭 | 香月 文吾 | 中学部主事 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 35 | 教諭 | 奥田 崇博 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 36 | 教諭 | 長崎 真弓 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 37 | 教諭 | 小森 知江美 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 38 | 教諭 | 青木 敦美 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 39 | 教諭 | 川野 実由紀 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 40 | 教諭 | 山本 真美 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 41 | 教諭 | 杉浦 昭久 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 42 | 教諭 | 今村 美香 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 43 | 教諭 | 伊藤 省吾 | 高等部主事 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 44 | 教諭 | 森 美佐緒 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 45 | 教諭 | 久保田 章彦 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 46 | 教諭 | 市脇 久則 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 47 | 教諭 | 白鳥 智美 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 48 | 教諭 | 鈴木 瑛希子 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 49 | 教諭 | 深見 千華 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 50 | 教諭 | 櫻井 雅巳 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 51 | 教諭 | 森 利佳 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 52 | 教諭 | 袴田 朗子 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 53 | 教諭 | 小熊 信敦 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 54 | 教諭 | 白鳥 史野 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 55 | 教諭 | 深澤 雄紀 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 56 | 教諭 | 藁科 亜由美 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 57 | 教諭 | 村瀬 知香 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 58 | 教諭 | 落合 薫 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 59 | 教諭 | 西ヶ谷 瞳 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 60 | 教諭 | 隅田 浩之 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 61 | 教諭 | 外岡 拓也 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 62 | 教諭 | 宮川 拓也 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 63 | 教諭 | 矢川 結穂 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 64 | 教諭 | 早藤 奈津美 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |

| 整理 番号 | 職名 | 氏名 | 事務分担 | 住所 | 勤務年数 | 摘要 |
|----------|----|--------|------|-----|------|-----|
| 65 | 教諭 | 久保田 直美 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 66 | 教諭 | 長田 芽久未 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 67 | 教諭 | 玉井 智也 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 68 | 教諭 | 高田 喜和子 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 69 | 教諭 | 山田 友利恵 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 70 | 教諭 | 鶴巻 毅 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 71 | 教諭 | 望月 藍美 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 72 | 教諭 | 熊谷 麻未 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 73 | 教諭 | 山梨 美雪 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 74 | 教諭 | 小林 太一 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 75 | 教諭 | 高田 勇太郎 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 76 | 教諭 | 井村 奨太 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 77 | 教諭 | 磯中 真子 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 78 | 教諭 | 小長井 雄太 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 79 | 教諭 | 高橋 紗也香 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 80 | 教諭 | 久米 彩奈 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 81 | 教諭 | 藤井 海我 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 82 | 教諭 | 深山 あかね | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 83 | 教諭 | 飯田 藍子 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 84 | 教諭 | 村松 瑠衣 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 85 | 教諭 | 長谷川 文明 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 86 | 教諭 | 山崎 琢矢 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 87 | 教諭 | 望月 江美 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 88 | 教諭 | 梶 真己 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 89 | 教諭 | 西尾 美波 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 90 | 教諭 | 近藤 智美 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 91 | 教諭 | 山田 千絋呂 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 92 | 教諭 | 花村 美紀 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 93 | 教諭 | 佐藤 秀平 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 94 | 教諭 | 成澤 美咲 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 95 | 教諭 | 吉岡 秀隆 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 96 | 教諭 | 山田 真穂子 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |

□□□□

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

| 整理 番号 | 職名 | 氏名 | 事務分担 | 住所 | 勤務年数 | 摘要 |
|----------|------|--------|------|------|-------|-----|
| 97 | 教諭 | 古家 香利 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 98 | 教諭 | 小原 和希 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 99 | 教諭 | 笹間 彩乃 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 100 | 教諭 | 山田 真帆 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 101 | 教諭 | 篠塚 ユウタ | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 102 | 教諭 | 渡辺 伶佳 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 103 | 教諭 | 石井 さとみ | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 104 | 教諭 | 小室 向日葵 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 105 | 教諭 | 白土 みづき | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 106 | 養護教諭 | 嵯峨 仁美 | 養護 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 107 | 養護教諭 | 野村 操 | 養護 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 108 | 栄養教諭 | 杉山 麻実 | 給食 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 109 | 主査 | 鈴木 良子 | 施設管財 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 110 | 主査 | 一杉 憲史 | 会計 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 111 | 主任 | 小長谷 光里 | 給与 | □□□ | □□□ | □□□ |
| | | | | 平均年数 | 2年11月 | |

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

| 整理番号 | 職名 | 氏名 | 事務分担 | 住所 | 勤務年数 | 摘要 |
|------|------------|---------|------------|-----|------|-----|
| 1 | 教諭(任) | 若月 朋子 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 2 | 教諭(任) | 作川 勇氣 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 3 | 教諭(任) | 服部 慎之介 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 4 | 教諭(臨) | 荒岡 樹 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 5 | 教諭(臨) | 佐野 純子 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 6 | 教諭(臨) | 赤堀 咲歩 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 7 | 教諭(臨) | 海野 千尋 | 中学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 8 | 教諭(臨) | 田島 朋香 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 9 | 教諭(臨) | 大石 奈生 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 10 | 教諭(臨) | 白井 謙伍 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 11 | 教諭(臨) | 丸山 純樹 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 12 | 教諭(臨) | 船戸 美希 | 小学部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 13 | 非常勤労務職員 | 塚本 寛 | 技能員 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 14 | 非常勤労務職員 | 萩原 久義 | 技能員 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 15 | 非常勤労務職員 | 前島 栄子 | スクールバス添乗 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 16 | 非常勤労務職員 | 長島 理恵子 | スクールバス添乗 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 17 | 非常勤労務職員 | 小野 由美子 | スクールバス添乗 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 18 | 非常勤労務職員 | 大石 佐智子 | スクールバス添乗 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 19 | 非常勤労務職員 | 大石 順子 | スクールバス添乗 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 20 | 非常勤労務職員 | 小長谷 くに子 | スクールバス添乗 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 21 | 非常勤労務職員 | 長澤 麻里 | スクールバス添乗 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 22 | 非常勤講師 | 吉村 賢 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 23 | 非常勤嘱託員 | 大坊 恭子 | 実習支援指導員 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 24 | 非常勤嘱託員 | 鈴木 崇彦 | 実習支援員 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 25 | 非常勤嘱託員 | 二宮 幹 | 実習支援員 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 26 | 非常勤嘱託員 | 鈴木 海人 | 実習支援員 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 27 | スクールカウンセラー | 白鳥 司 | スクールカウンセラー | □□□ | □□□ | □□□ |
| 28 | 就労促進専門員 | 杉山 方城 | 就労促進 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 29 | 非常勤講師 | 金澤 徹 | 高等部 | □□□ | □□□ | □□□ |
| 30 | 非常勤嘱託員 | 藤下 慶子 | 事務加配 | □□□ | □□□ | □□□ |

□□□□

職員の年齢調

(令和7年9月30日 現在)

| 年 齢 | 人 員 | 摘 要 |
|---------------|-----|------------|
| 20 歳未満 | 0 人 | |
| 20 歳以上 30 歳未満 | 12 | |
| 30 歳以上 40 歳未満 | 33 | |
| 40 歳以上 50 歳未満 | 35 | |
| 50 歳以上 56 歳未満 | 15 | |
| 56 歳以上 61 歳未満 | 14 | |
| 61 歳以上 | 2 | 再任用2 |
| 計 | 111 | 平均年齢 43.1歳 |

健康管理

1 6年度受診状況

| 区 分 | 内 容 |
|---------|-----------------------|
| 受 診 状 況 | 受診者数 106人 職員数 111人 |
| 受 診 率 | 95.5% |
| 県平均受診率 | 100% |

(1) 未受診の理由
産・育休 3人
新規採用 2人

2 7年度在籍者の健康管理区分結果

| 健 康 管 理 区 分 | | | 人 数 |
|-------------|--|---------|----------------|
| A | 休養のため必要な期間、勤務を休止させる。 | | 0人 |
| B1 | 勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。 | 要 治 療 | 0人 |
| B2 | | 要経過観察 | 0人 |
| C1 | 勤務をほぼ平常に行つてよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。 | 要 治 療 | 0人 |
| C2 | | 要経過観察 | 0人 |
| D1 | 平常の勤務でよい。 | 要 治 療 | 41人 (41人) |
| D2 | | 要経過観察 | 36人 (36人) |
| D3 | | 医 療 不 要 | 28人 (28人) |
| 区 分 者 計 | | | 105人 (105人) |
| 未区分者数 | | | 6人 |
| 合 計 | | | 111人 (111人) |

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

時間外、週休日の勤務及び遠方、宿泊出張は避けることとした。

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 3人
イ 新規採用 3人
ウ 自己都合による未受診 0人
エ その他 (特休、妊娠中) 0人